

平成30年度

第1回 役員会(理事・監事)

議 事 録

平成30年 7月26日(木) 13:30～  
(公財)福岡県中小企業振興センター403 会議室  
一般財団法人 福岡県学校安全振興会

## 平成30年度 一般財団法人福岡県学校安全振興会 役員会 議事録

日 時 平成30年7月26日(木) 13:30～  
場 所 (公財)福岡県中小企業振興センター403 会議室

<出席者> 現在数理事 6名 監事 4名のうち 全員出席 (敬称略)  
○理事 今富英樹 大澤俊朗 平野孝幸 一木栄子 鶴我哲夫 谷延ひろみ  
○監事 澁谷昌樹 金子政彦 永尾秀樹 松岡優子

### <役員会>

- 1 開会のことば(事務局)
- 2 理事長 挨拶(今富理事長)
- 3 出席数確認・・・役員会の成立を確認。  
事務局職員
- 4 議長及び議事録署名人の選出
  - (1)議 長  
一般財団法人福岡県学校安全振興会定款第33条第3項に基づき、今富理事長が議長就任する。
  - (2)議事録署名人  
定款第37条第2項により、議事録署名人として、理事長及び監事4名を選出する。
- 5 議 事

### 第1号議案 普及充実事業「健康用品(寄贈品)」の選定

- 議 長 : 事務局に説明を求める。
- 事務局 : 資料のとおり、アンケート結果を踏まえ、要望の多かった「非接触型体温計と手首式体温計」を候補とする。この2点については、生徒等が使用する機会の多いものとする。また、予算範囲内で、購入できる個数を寄贈したい。  
なお、昨年あがっていた「非常用防災セット」および「サーキュレータ」も参考として掲載している。
- 議 長 : 第1号議案について質問・意見等を求める。
- ◎A理事 : 非接触型体温計は、正確な数値が出ないタイプもあり、医療現場などでは、使用しないところも多いと聞いている。
- ◎B理事 : 品物によって評価の差が大きいし、大手メーカー品だからといって評価が高いわけではない。
- 事務局 : 学校は、疾病等の初期症状判断の一環として非接触型体温計を使用し、より多くの生徒等に迅速かつ衛生的に対応できるような品物が必要だと思う。
- 議 長 : 他に意見をもとめる。
- 議 長 : では、事務局にて「手首式血圧計」および「非接触式体温計」の製品について、各メ

一カーの評価等を考慮し選定する。で良いか。

- 議長：第1号議案について承認を求める。  
**全員承認。**

## 第2号議案 調査研究事業 助成対象学校の選定(校長協会推薦1、公募1)

- 議長：事務局に説明を求める。  
●事務局：校長協会からの推薦校は(H30年筑豊地区)「直方高校」があがっている。  
資料1の申請書のとおり。また、公募については、現在のところ無し。  
◎C理事：掘り起こしは、今年度は行う予定はあるか。  
●事務局：掘り起こしは行う予定は今のところないが、引き続き応募があれば受けたいと考えている。  
○議長：では、第2号議案について、今年度校長協会推薦の「直方高校」に、決定。また、9月の臨時役員会までに公募があった場合、再度公募学校の選定を行うことで良いか。  
**全員承認。**

## 第3号議案 助成事業団体の選定

- 議長：事務局に説明を求める。  
●事務局：30年度は、現在までに高P連を含め資料3のとおり応募があっている。今回初めて「高校野球連盟」からの申請があったことも付け加える。  
○議長：第3号議案について質問・意見等を求める。質問・意見なし。  
◎B理事：「高校体育連盟」からの申請は無かったのか。  
●事務局：今年から、高体連の会長に本会の評議員になってもらっており、打診を行ったが、「野球」以外のスポーツが加入している連盟であり、専門部だけでもかなりの部が存在している。連盟内部の会議でも審議が必要な事項であるため、今年の申請は時間的に厳しいとの回答を得ている。なお、次年度は申請の意向があるとのこと。  
◎B理事：その方向で進めて欲しい。  
●事務局：(3)の「生指研」について報告する。昨年も助成を行った団体であるが、年度末までに「事業報告」および「決算報告」の書類が届かなかった。その後、職員、常務理事にて3回督促し、6月中旬にやっと出てきた状況である。  
◎C理事：「生指研」は、今まで本会へ来賓案内をしていないと聞いているが。  
◎A理事：今年、助成対象から外しても良いのでは。  
◎D理事：生徒指導は、大事な教育活動の一つであるから、今年、助成を行うようにし、「今後改善されないままであれば助成をしない」と今回の経緯を伝えるのはどうか。  
○議長：その他、第3号議案について質問・意見等を求める。  
質問・意見なし。  
○議長：では、第3号議案について「福岡県公立高等学校PTA連合会、福岡県高等学校保健会、福岡県高等学校給食研究協議会、福岡県立学校等生徒指導主事研究協議会、福岡県高等学校野球連盟」以上の5団体に助成する。ただし、「生指研」については、改善が見られない場合、次年度は助成しないという条件を出すことで良いか。  
**全員賛成。承認。**

#### 第4号議案 内部諸規程「文書管理規程」(案)

- 議長：事務局に説明を求める。
- 事務局：資料のとおり、内部諸規程としてこれまで定められていなかった「文書管理規程」を設けた。
- ◎B理事：財務諸表など、一般企業のISO基準と比較した場合、この規程の方が保存期間長いものが多いと感じるが。
- 事務局：公益法人会計基準に則り定めている。
- ◎C理事：保管書類が増えることが懸念されるが保管場所の確保は可能か。
- 事務局：部屋を移転し、施錠できる書庫も今年度新たに2個購入し、当面の間は問題ないと考える。
- 議長：その他、第4号議案について質問・意見等を求める。質問・意見なし。
- 議長：第4号議案について決議を求める。  
**全員承認。**

#### 第5号議案 共済規程事業方法書及び共済約款変更(案)

- 議長：事務局に説明を求める。
- 事務局：資料のとおり、保護者等の入院・通院共済金補償内容、支給金額の見直し案として提示する。
- 議長：第5号議案について質問・意見等を求める。
- ◎A理事：通院1日3,000円となると、かなり請求が増えてくるのでは。
- ◎B理事：830円のうち6円が保護者等の共済金に充てられる金額とするならば、3,000円は少し高いと思う。一般的な保険からすれば、1,000円以上の掛金に対して3,000円程度の支給額ではないか。
- ◎C理事：年間のPTA役員等の活動人数など、もう少し詳細数値を割り出した上で試算すべき。
- 議長：では、第5号議案については、事務局にて再度補償内容と支給金額の見直しを行うという事で、継続審議として保留とする。で良いか。  
**全員継続審議に賛成。**

- 議長：その他として、議案には無いが、追加協議として、以下の件を提案する。
- 議長および事務局：  
議案にはないが、現在特定資産の「準備金」及び「異常危険準備金」積立資産について、以下のとおり提案する。
  - ①二つの資産の「定期預金」で預けている利息がかなり低い。(定期預金利率0.01%)少しでも、資産を増加させたい。
  - ②定期預金で「準備金」に約1,000万円、「異常危険準備金」に約3,000万円保有しており、そのうち各1,000万円を債券に預け替えをしたい。具体的には、証券会社より直近の条件が良い「大阪府公募公債」(利率0.173%)を紹介されている。
  - ③不測の事態に備え、すぐに取り崩しが出来る「異常危険準備金」を2,000万円分は定期預金のまま保有しておく。
- 議長：質問・意見を求める。質問・意見なし。
- 議長：「準備金」及び「異常危険準備金」資産の各1,000万を現在の定期預金から、公募公債に預け替えを行うことを承認で良いか。

**全員承認。**

○議長：その他、質問・意見がなく、今回の議案を全て承認したので、審議のご協力に感謝し今後のご支援をお願いの上退任。

以上をもって全議事を終了する。

4 閉会のことば(事務局)

「各役員の協力を依頼、又議事録署名をお願いして閉会。」

以上決議を明確にするため議事録を作成し、議長並びに議事録署名人にて次に記名押印する。

平成30年7月26日

一般財団法人 福岡県学校安全振興会

議長(理事長)

印

議事録署名人(監事)

印

議事録署名人(監事)

印

議事録署名人(監事)

印

議事録署名人(監事)

印